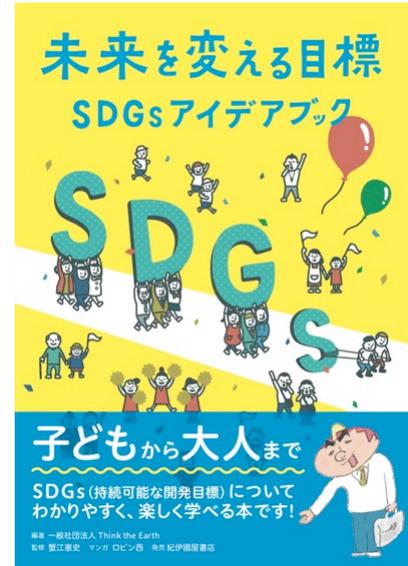


Think the Earth

子どもたちと未来をつくる



SDGs  School
produced by Think the Earth





earth watch wn-1/wn-2
2001-2014

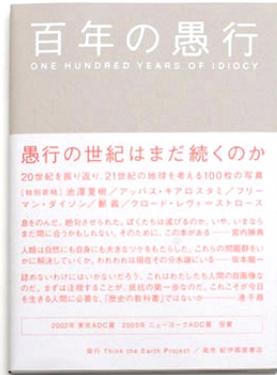


earth watch working model
1998

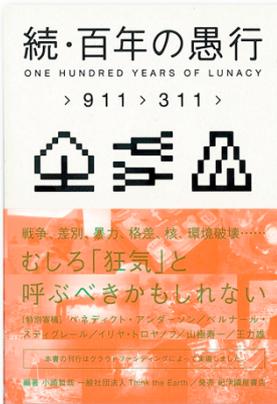


live earth
2005-2012

写真集『百年の愚行』



2002



2014



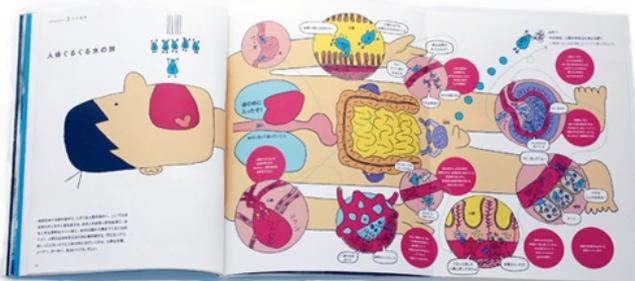
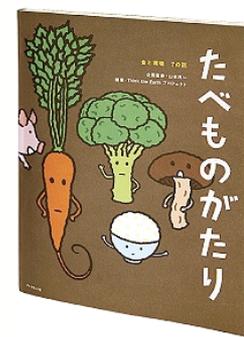
『いきものがたり』 2007



『みずものがたり』 2008



『たべものがたり』 2009



子どもたちと未来をつくる



SDGs for School
produced by Think the Earth

未来を変える目標 SDGsアイデアブック

子どもから大人まで

SDGs(持続可能な開発目標)について
わかりやすく、楽しく学べる本です!

編集：一般社団法人 Think the Earth
発行：第三学文社 / オンライン版：株式会社学研教育出版

2018年発行
市販版15刷
発行部数 9万部
700校に寄贈

精度に精度をかさね
導き出した答え

今!!

それが

今、この時代こそが
人類史上、めちゃくちゃ
重要な分岐点ということが
わかったのじゃ!!

もっと徹底
せねばならん!!

今!!

この時代!!

これ数回の
実験手段でっせ

だってら大
中やんは中
わいは二歳やわ
こどもは幼いな
もん

と質問すると
わたしも親子つられては別に
要るだろーかい? 誰か人に
なれははずないしな

目標を
遂行する努力

問題の周知
意識

ほんの小さな
アクション!!

これ数回の
実験手段でっせ

だってら大
中やんは中
わいは二歳やわ
こどもは幼いな
もん

と質問すると
わたしも親子つられては別に
要るだろーかい? 誰か人に
なれははずないしな

目標 1 貧困をなくそう

世界には今、世界銀行で定めた国際貧困ライン*である1日1.9ドル未満で暮らしている人が7億人以上もいます。もちろん、1日1.9ドルでは人が健康に生きていくのに必要な食べ物や、医療は得られません。教育を受ける権利もなく、貧困が次の世代にも連鎖してしまいます。そしてそれ全部の原因は、社会の一環として認められれば、生活はさらに楽になります。特に女性は弱い立場に置かれがちです。こうした差別を地道に上なくするには企業も政府も個人も責任が欠かせません。先進国国内でも、経済的・社会的に弱い立場の人への支援が必要です。

また、地震や洪水といった災害が起きると、多くの人が生活の基礎を奪われます。それまで経済的にギリギリで生活していた人は、すぐに深刻な貧困に陥ってしまうでしょう。新たな貧困を生み出さないために、貧困のリスクにさらされやすい人を守る工夫も求められています。

*国際連合「SDGs(持続可能な開発目標) 1.25 P.126, 2015年10月19日 P.126参照

考えてみよう

貧しい国や人にお金を送る支援は重要ですが、新たな仕事や仕事によって貧困を減らすこともできるかもしれません。「取りたいものがある」だけでなく、ほかにできることはないか、考えてみましょう。

1日1.9ドル未満で暮らす人の数
2002 約16億1,900万人
↓
2013 約7億6,800万人

Source: Poverty (The World Bank)

まずはこの国から
問題に気づき
7億人って、10人に1人は困窮やぞ!

未来を変えたアイデア 《ジップライン》

速くへすばやく ドローンで医薬品を届ける

3 世界で
1/10

最新のテクノロジーを途上国の課題解決に

都市から遠く離れた村で、ひとりの女性がお産で大出血をした。今すぐ輸血が必要だが、村には血液が保管されていない。郡都から血液を届けたくても、車で運ぼうとすれば道路にはまされ、何時間も、悪くすれば明日もかかる。それは助かる命も助からない。これはアメリカの多くの国に共通する状況だ。

しかし今アメリカ東部のワシントンには、そんなときに出動する新しいドローンがある。

よく、「途上国支援にはコストが高く修理が難しいドローンよりもシンプルでローコストのほうがいい」と言われるが、アメリカのベンチャー企業 ZipLine (ジップライン) はその常識を覆し、最先端のテクノロジーを途上国支援しようと考えた。ドローンなら低コストの血液をすばやく運べる上に壊れずも簡単に修理でき、燃料費や機材費は飛行機とは比べものにならないほど安い。このアイデアは世界からたくさん投資が集まり、ワシントンが最先端がスタート。ほかの国へも広がっている。このシステムは先進国でも、災害で孤立した地域への医薬品輸送などに使えるだろう。この先、途上国での課題解決の仕方から先進国が学ぶことも増えていくそうだ。

使われるドローンは飛行機よりも、遠くまで飛ぶ必要がなく、簡単に修理・交換できる。また、2000g程度の重量まで運ぶことができ、ドローンで運ぶことができる医薬品は、ドローンで運ぶことができる

ZipLine
http://www.zipline.com

A2 マラリア、HIV/エイズ、結核

蚊が媒介するマラリア、母子感染や性行為など伝染するHIV/エイズ、空気感染する結核。感染症はほかにもたくさんありますが、途上国では特にこの3つが深刻で、毎年何百万人の命を奪っています。病気を奪っていく人が増えれば国の発展はさらに難しく、医療が行き届かなくなるといふ悪循環を引き起こしています。

子どもたちと未来をつくる



SDGs for School
produced by Think the Earth



2019



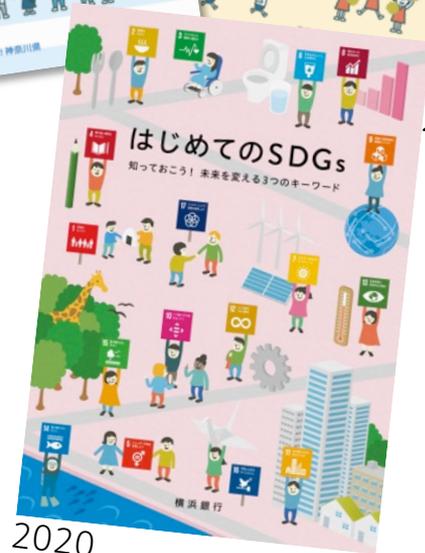
2020



2020



2019



2020

子どもたちと未来をつくる



SDGs for School
produced by Think the Earth





みらいをつくる
ソーシャル
アクションフェス

子どもたちと未来をつくる



SDGs for School
produced by Think the Earth

